

# 河道閉塞等の対応状況について

---

平成27年11月11日(水)

国土交通省 近畿地方整備局  
紀伊山地砂防事務所



## 凡 例

- 河道閉塞箇所 (4箇所)
  - 大規模崩壊箇所 (3箇所)
- 計7箇所

河道閉塞箇所及び大規模崩壊箇所における対策方針については、河道閉塞等対策検討委員会（平成24年5月に設置）において検討が行われ、第4回目委員会（平成25年2月）において、各箇所の対策や警戒避難体制などの基本方針がまとめられた。

## 河道閉塞等対策検討委員会 委員一覧（敬称略）

委員長 水山 高久（京都大学大学院農学研究科 教授）

委員 後藤 宏二

（国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター センター長）

委員 千木良 雅弘

（京都大学防災研究所 地盤災害研究部門 教授）

委員 服部 敦

（国土技術政策総合研究所 河川研究室 室長）

委員 藤田 正治

（京都大学防災研究所 流域研究センター 教授）

委員 松村 和樹

（京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授）



委員会討議状況（平成25年2月14日）

## 提言（要旨）

### ○ 河道閉塞等土砂災害対策の基本方針・対策内容

- ・ 目標：崩壊箇所や下流部での土砂・洪水氾濫被害を防止する。
- ・ 考え方：河道閉塞部は可能な限り高さを低くする。  
崩壊地等は残存リスクを想定し、効果的な対策を選定する。
- ・ 計画：100年超過確率規模の降雨量とし、規模これを上回る場合も致命的な破壊に至らない計画とする。
- ・ 施設：対策施設には砂防ソイルセメントを活用。  
配置 河道閉塞部末端には砂防堰堤を設置。維持管理負担が少なくなるよう計画。

### ○ 警戒避難の考え方

- ・ 監視機器等を整備し、関係機関との情報共有を行う。
- ・ 情報提供は迅速に実施。

### ○ 今後の対策にあたっての課題

- ・ 各地区の状況変化等に応じた、適宜見直し検討。
- ・ 水・土砂移動現象のメカニズム解明や新対策手法の検討。



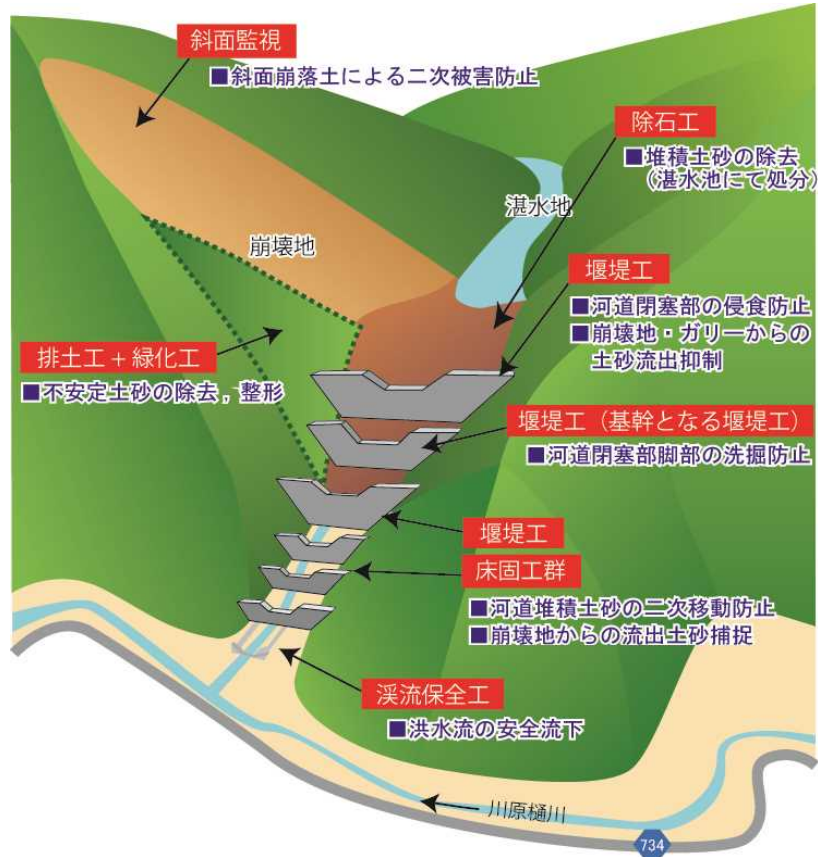
桜井所長（左）へ提言書を手渡す水山委員長



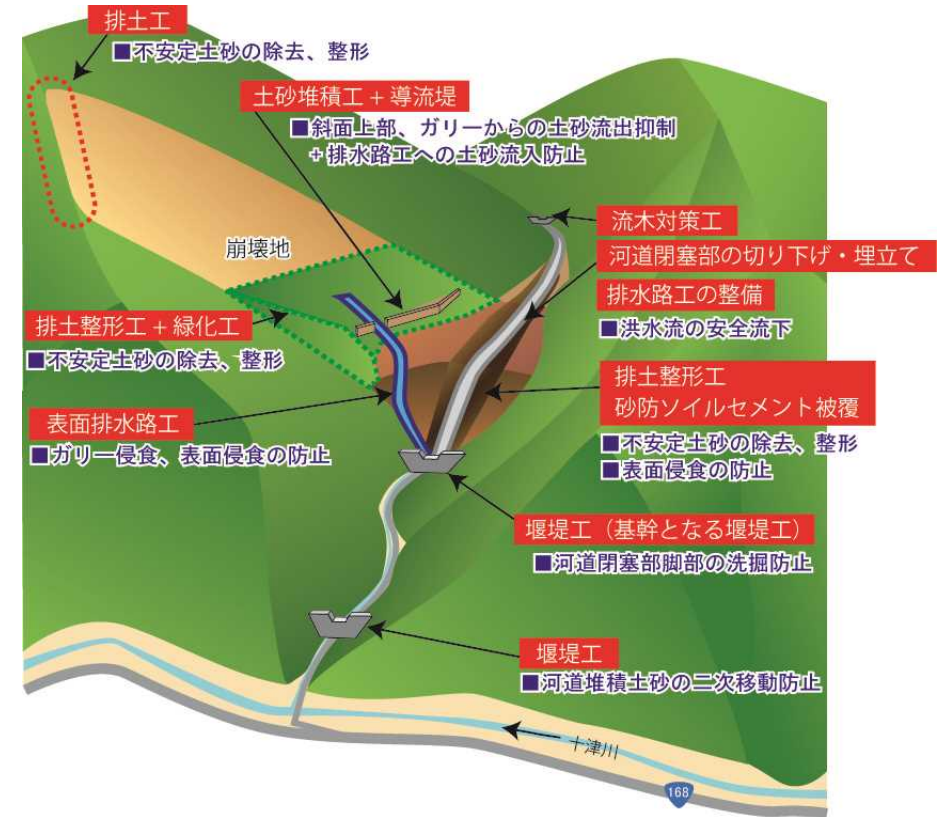
委員会終了後取材を受ける水山委員長



## 赤谷

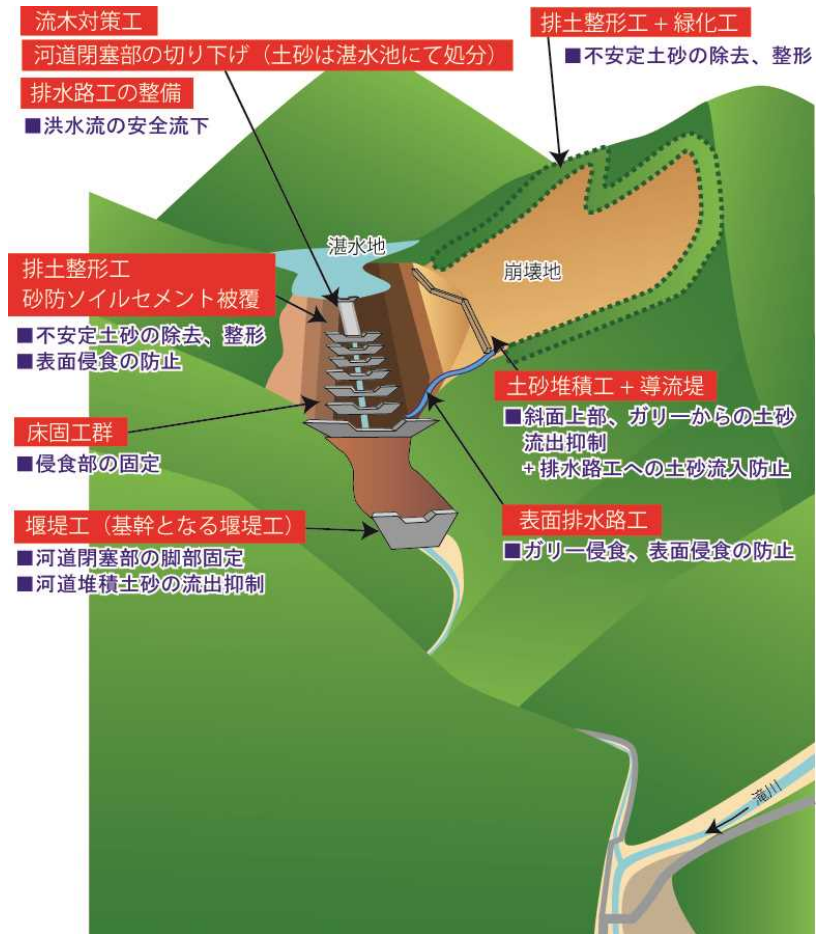


## 長殿





## 栗平



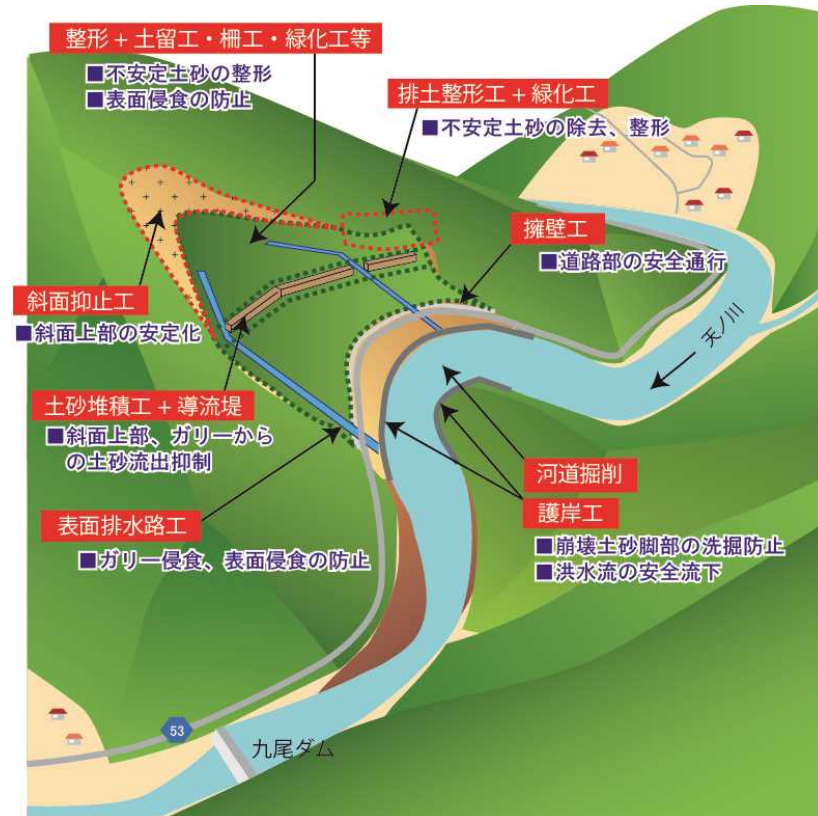
## 北股



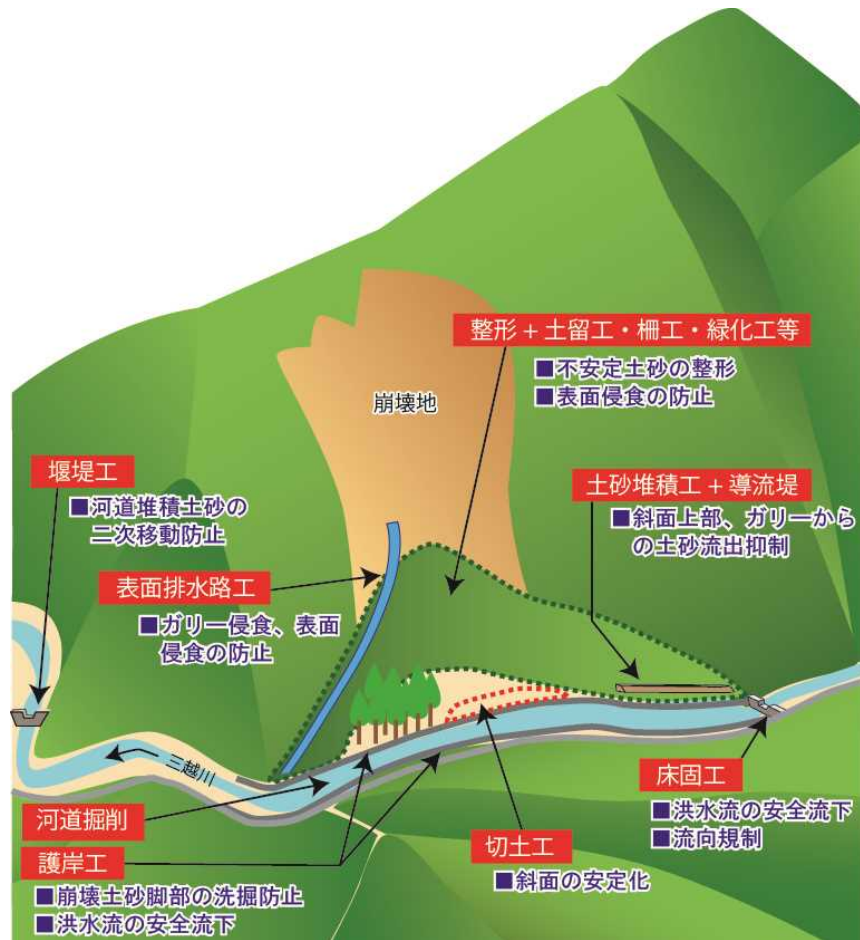
## 清水(宇井)



## 坪内



# 三越





## 赤谷

### 赤谷地区上流堰堤他工事

工期：平成25年11月15日～平成28年3月30日  
施工業者：鹿島建設(株)

### 赤谷地区下流堰堤他工事

工期：平成26年10月23日～平成28年10月31日  
施工業者：鹿島建設(株)

①砂防堰堤工下流部 施工状況



②砂防堰堤工 復旧状況



③仮排水路 復旧状況



H27.6.2撮影



## 長殿

### 長殿地区流路工他工事

工期：平成27年2月27日～平成28年3月30日

施工業者：(株)鴻池組





## 栗平

### 栗平地区砂防堰堤他工事

工期：平成27年7月14日～平成28年2月29日

施工業者：大成建設(株)





## 北股

### 北股地区上流堰堤本体他工事

工期：平成27年6月5日～平成28年2月29日  
施工業者：(株)熊谷組

### 北股地区周辺整備工事

工期：平成27年8月26日～平成28年2月29日  
施工業者：(株)山村組



① 溪流保全工 施工状況



② 砂防堰堤工 施工状況

H27.10.30撮影

H27.6.2撮影



## 清水(宇井)

### 清水地区下部斜面对策他工事

工期：平成27年7月23日～平成28年2月29日  
施工業者：松塚建設(株)





## 坪内

### 坪内地区斜面对策他工事

工期：平成27年7月15日～平成28年2月29日

施工業者：ライト工業(株)

①法面工 施工状況





## 三越

### 三越川三越地区堰堤他工事

工期：平成26年3月25日～平成27年10月31日  
施工業者：泉・果無經常建設共同企業体

### 三越地区床固工他整備工事

工期：平成27年4月1日～平成27年12月26日  
施工業者：泉・果無經常建設共同企業体

①砂防堰堤工 完成



②床固工 施工状況



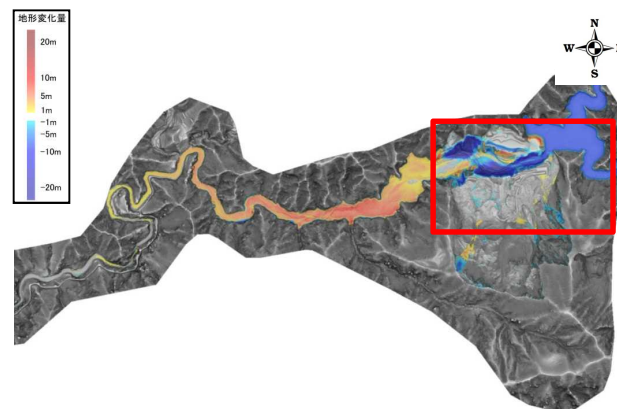


- 進入路が被災し、現地への立ち入りが困難な状況の栗平地区、長殿地区について、台風11号通過後の7月18日に、UAVを活用した無人調査や、災害対策ヘリコプターによる上空からの調査を実施。
- 7月20日には、国土技術政策総合研究所・土木研究所の土砂災害の専門家および紀伊山地砂防事務所職員による現地調査を実施し、十津川村役場へ状況報告と今後の警戒態勢について技術的助言を実施。

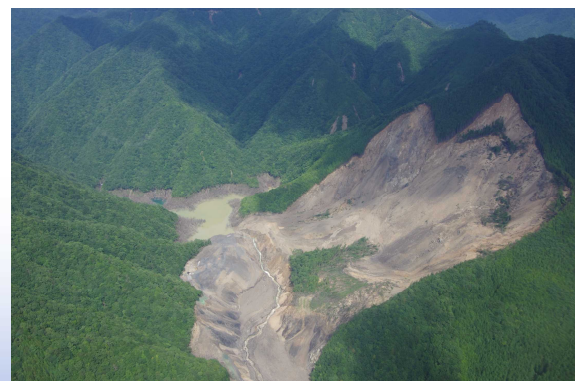
## 現地調査の実施(栗平地区)



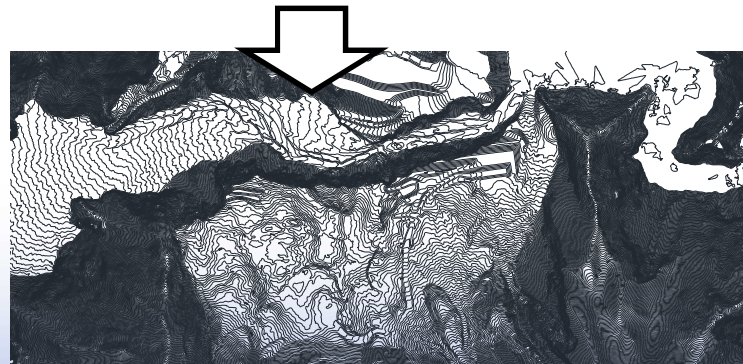
UAVによる現地の状況把握  
※7月18日15時頃撮影



航空レーザ測量による現地の状況把握  
※7月20日午前中計測完了  
→21日差分解析完了



災害対策用ヘリコプター(きんき号)による  
現地の状況把握  
※7月18日15時頃撮影



航空レーザ測量結果から、現地図面を作成し、  
復旧工法等を検討  
※7月22日図化完了

## 土砂災害専門家による現地調査



現地調査の状況(栗平地区)  
※7月20日

## 調査結果の報告・助言



地元自治体への調査結果の説明状況  
※7月20日



- 平成27年台風11号の豪雨による出水で施設が被災した赤谷・長殿・栗平の3地区では今年の台風期までに緊急的な復旧作業を概ね完了。
- 赤谷・栗平地区では、来年度の台風期までの基幹的な砂防堰堤の完成を目指し鋭意整備中。

赤谷地区



長殿地区



栗平地区

